

麻疹（はしか）・風疹（三日ばしか）混合予防接種について

2008年4月から、麻疹排除計画（5ヵ年）がスタートしました。中学1年生と高校3年生の年齢の人に麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）を接種します。

各市町の担当課から、予防接種に関する通知が自宅に送られていると思います。
届いていない場合は、各市町の担当課にお問い合わせください。

- ・説明書をよく読みできるだけ早い時期に指定医療機関で接種を受ける。
- ・無料。（一万数千円の費用は各市町が負担）
- ・保護者の同伴は必要なし。（事前に保護者が予防接種の効果や副反応などについて理解・納得した上で子どもへの予防接種を希望し、予診票に署名する）

麻疹・風疹の予防接種を幼児期に受けている人も、2回目の予防接種を受けることによって、**より強力な免疫**を獲得することができます。また、今まで麻疹・風疹に感染した経験のある人が予防接種をしても、体には全く影響ありません。

大学入試時・就職時（医療・福祉・教育・保育関係など）やその実習に参加する時は、麻疹・風疹の予防接種を受けているという証明を求められる可能性があります。接種後は必ず、母子手帳などに、接種済みであるという証明をもらっておいてください。手帳がない場合は、その旨を医療機関に申し出て「接種済証」をもらいましょう。

☆詳しくは各市町から送られている説明書や、4月に学校からお配りした文部科学省・厚生労働省からのリーフレットをお読みください。